「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」キックオフシンポジウム

未来のコモンセンスをつくる研究大学

智徳の協働で多様な研究拠点を生み出し育む「土壌」を醸成し
比類なき研究で未来のコモンセンスをつくる

2024年7月5日

慶應義塾大学
常任理事(研究担当)　天谷 雅行

©Keio University, 2024

慶應義塾の目的「躬行実践」「実学」

慶應義塾は単に一所の学塾として
自から甘んずるを得ず。
其目的は我日本国中に於ける
気品の泉源、智徳の模範たらんことを期し、
之を実際にしては居家、処世、
立国の本旨を明にして、
之を口に言ふのみにあらず、
躬行実践、以て全社会の
先導者たらんことを欲するものなり

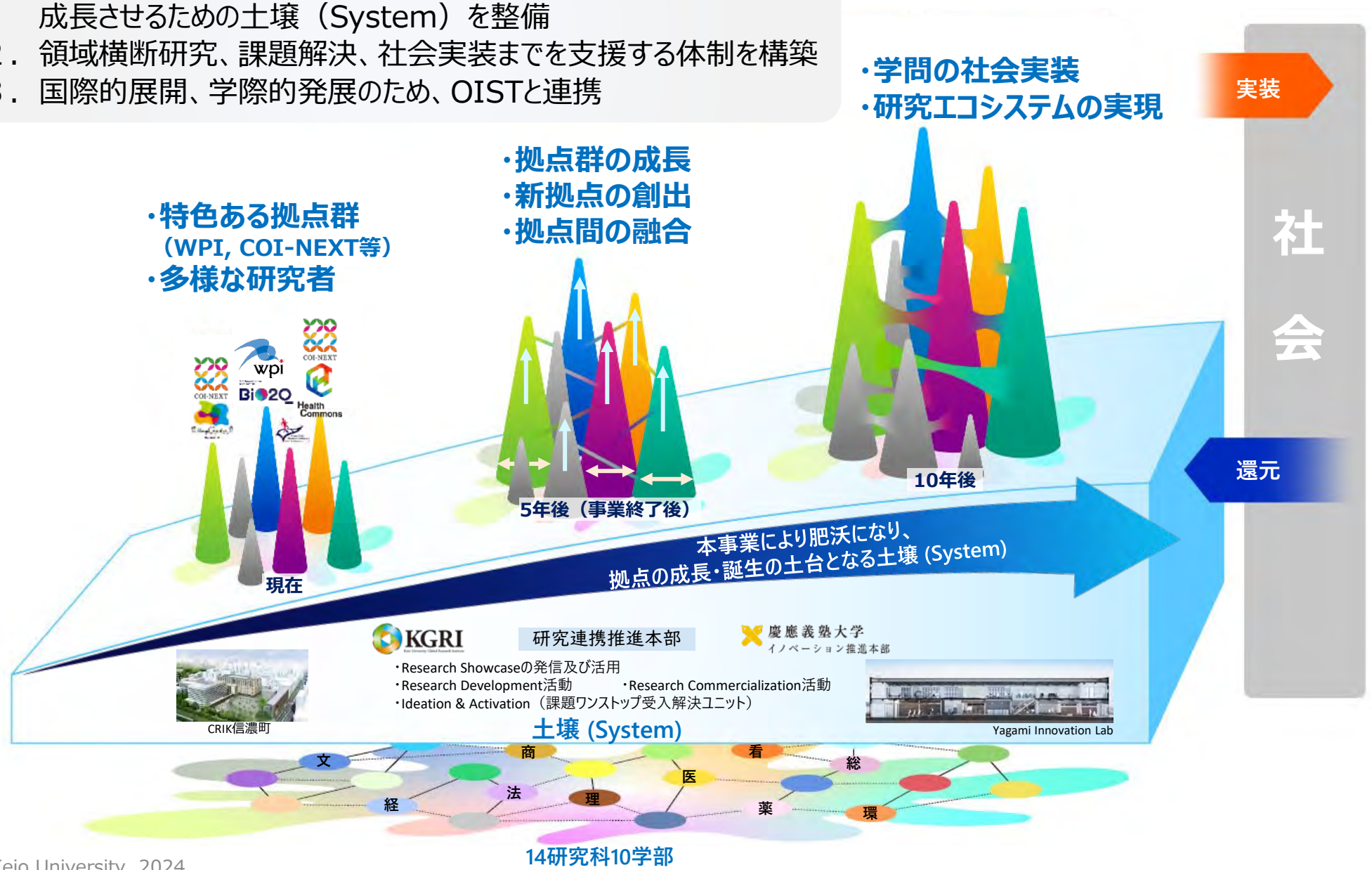
「福澤諭吉ウェーランド講述の図」
（画　安田靫彦）

詳細：慶應義塾ウェブサイト＞慶應義塾について＞理念
https://www.keio.ac.jp/ja/about/philosophy/

©Keio University, 2024

「未来のコモンセンスをつくる研究大学」に成長していくプロセス

1．先行するWPI、COI-NEXTを核にして、領域横断研究を創出し成長させるための土壌（System）を整備
2．領域横断研究、課題解決、社会実装までを支援する体制を構築
3．国際的展開、学際的発展のため、OISTと連携



©Keio University, 2024

新産業創出（実業家養成）

福澤諭吉は、商を蔑む傾向が強かった幕末・維新の時代に、
自己の利益のみを追求する商人の限界を指摘し、
民の力で社会全体を発展させる実業家を育成した。

起業支援、発明・発見の社会実装支援と学問のシーズに基づくスタートアップ

KII KEIO INNOVATION INITIATIVE

義塾ベンチャーキャピタル

- 運用総額 350億円
- 投資先　52社
  （2024年4月時点）
- インパクトファンド 新規組成
  （大学VC初）

×

慶應スタートアップ Keio Startup

イノベーション推進本部

- 実務家教員現在20名
- 「慶應スタートアップインキュベーションプログラム(KSIP)」の全学展開
- 慶應版EIR(客員起業家)モデルの始動
- 事業加速のためのパートナー制度
  (ビズリーチ社,フォースタートアップス社,
  AWSジャパン社)
- 「慶應義塾大学関連スタートアップ制度」の導入

＝

慶應義塾大学発スタートアップの資金調達額

510 億円　全国の大学で 1 位

※INITIAL,「2023年 Japan Startup Finance - 国内スタートアップ資金調達動向決定版 -」

慶應義塾大学発ベンチャー企業数

291 社　全国の大学で 2 位

経済産業省 令和5年度
大学発ベンチャー実態等調査

（2023年度）

©Keio University, 2024

オープンイノベーション/社会実装支援（ Research Commercializationの活動 ）

矢上キャンパス　**施設整備事業で採択**　**信濃町キャンパス**

CRIK SHINANOMACHI Center for Research and Incubation Keio University

オープンサイエンスからオープンイノベーションを展開

Yagami Innovation Laboratory（YIL）

2024年度末竣工予定

延べ床面積：2,062㎡ (増築部554㎡)
階数：2階建

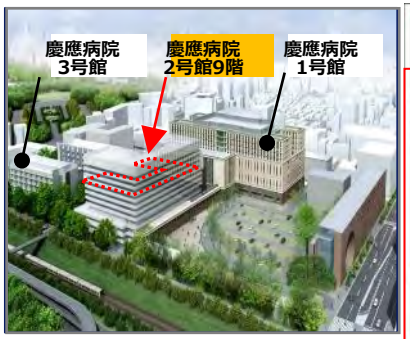
マルチフィジックス、材料、デバイス、生命、
複雑系におけるシミュレーションを軸に、産業界との
オープンサイエンス/オープンイノベーションを展開

OISTとの連携でも両施設を活用

社会実装を強力に推進

慶應義塾大学信濃町リサーチ＆インキュベーションセンター（CRIK信濃町）

2024年5月29日開所



床面積： 2,546m²
入居企業数：55社
最大収容人数：380名
ラウンジ 100名収容

スタートアップ創出に向けた事業計画の具体化と
会社設立に向けた研究者への伴走支援を行う
「**慶應スタートアップインキュベーションプログラム(KSIP)**」を展開

©Keio University, 2024

領域横断研究、課題解決、社会実装までを支援する体制

学外　連携大学　　参画機関（海外）

OIST　KING'S College LONDON　Northwestern University　University of Cologne　연세대학교 YONSEI UNIVERSITY

- **OISTに連携コーディネーターを配置**
- 慶應の強みのある領域の発展
- 研究・研究支援環境の世界標準化

連携機関との交流
- 学際・国際連携Unitを核とした連携の強化
- OISTとの人材交流の充実化

塾長

研究担当常任理事

研究連携推進本部
全学組織として慶應義塾の研究活動に係る諸施策を議論

新規URA・教員・職員等の獲得
- 理事・所長・本部長の下、それぞれの部門にURAの統括ポジションを設置し、明確な指揮命令系統を構築
- パフォーマンスの評価軸の明確化
- ビズリーチとの連携等による多数・多様な応募からの選抜による優秀な人材の獲得

KGRI Keio University Global Research Institute

グローバルリサーチインスティテュート (KGRI)
研究力向上支援HUB
所長・副所長(教員)
事務局　職員**増員**

起業家教育・支援担当常任理事

慶應義塾大学 イノベーション推進本部

イノベーション推進本部
全学的社会実装HUB
事務局　職員

URA**増員**
戦略企画室

BIZREACH
- 「慶應版 EIR（客員起業家）モデル」構築
- 慶應人材DB構築　で連携

URA配置
学際・国際連携 Unit
Research Development
将来の研究エッジの発展

URA配置
課題ワンストップ受入解決Unit
ニーズベースの課題受入
社会課題から研究への還元

URA配置
研究広報Unit
研究IR/Showcaseによる研究の魅力顕在化

URA・特任教員配置
研究基盤整備支援 Unit
研究力向上に必要な基盤の整備

URA**増員**
オープンイノベーション部門
産学連携共同研究の創出・推進のため横断的な連携、支援

URA5名
知的資産部門
慶應義塾の研究成果の権利化

URA**増員**
職員**増員**
スタートアップ部門
慶應義塾の成果に基づいた起業支援、スタートアップの成長支援

活用　**支援**

学内

新たに生まれる拠点

RecyCreation

特色ある研究拠点群

WPI Research Center Keio University Bio2Q

Health Commons

新たに生まれる拠点

Yagami Innovation Lab（YIL）

矢上キャンパスに技術支援として**職員配置**

CRIK SHINANOMACHI

CRIK信濃町

信濃町キャンパスにCRIK信濃町連携として**URA・職員配置**

14研究科・10学部

文学研究科	経済学研究科	法学研究科	社会学研究科	商学研究科	医学研究科	理工学研究科	政策・メディア研究科	健康マネジメント研究科	薬学研究科	経営管理研究科	システムデザイン・マネジメント研究科	メディアデザイン研究科	法務研究科
文学部	経済学部	法学部	商学部	医学部	理工学部	総合政策学部	環境情報学部	看護医療学部	薬学部				

赤：本事業により設置するUnit、配置する人員

©Keio University, 2024

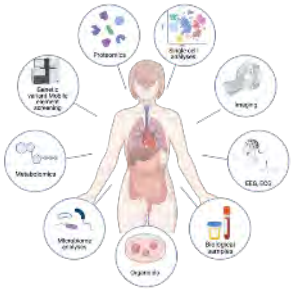
進む異分野の融合・連携　–WPI, COI-NEXT拠点-

WPI

ヒト多臓器円環メカニズムの解明による新たな生命科学の確立

WPI Research Center
Keio University
Bio2Q
Human Biology
Microbiome Quantum
Research Center

ヒト生物学とコンピュータ科学の円環システム



Multi-omics・
生体ナノ構造 情報　＋ 臨床情報

コンピュータ解析
（古典的 ＋ AI ＋ 量子）

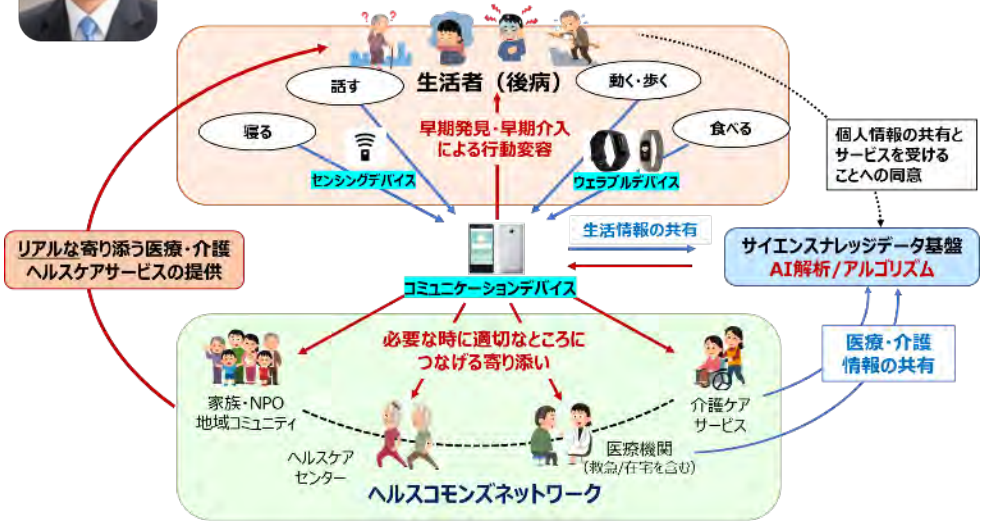
理論・仮説の発見を劇的加速・統合し、
それらを検証する円環形成

- 分子経路
- 疾患発症機序
- 多臓器連環
- 自己言及的構造
- 恒常性
- 受容体-リガンド
- 代謝物構造
- 環境-生体応答
- ・・・

情報循環型の未来医療・ヘルスケアの実現

COI-NEXT

Health Commons



資源循環型都市デザインによるまちづくり

COI-NEXT

RecyCreation
慶応鎌倉ラボ

循環者になろう。

細粒度ごみデータから見えるまちの健康診断

ビジョン：「消費者から循環者へ」
未来のコモンセンスの提示・先導

ごみ収集データ
資源再生データ
市民行動データ

循環創造フィールド
（鎌倉市との地域共創）
細粒度センシング
AIモニタリング
実践・実験

リサイクル遊具
新種のコンポスト土壌
拡張地域通貨 etc

技術開発研究、マッチング
慶應義塾大学
鎌倉サテライトラボ

“橋渡し“研究拠点
リサイクル式3Dプリンタ
IoTコンポスト

新種の微生物分解プラスチック菌

文理をつなげた学部横断型オール慶應体制

慶應義塾大学
湘南藤沢キャンパス

慶應義塾大学
矢上キャンパス

計算機資源＋データ基盤＋学理

©Keio University, 2024

領域横断研究を創出するためのShowcaseの取り組み

研究者交流会の定期開催と研究紹介ビデオ制作（Hidden Jewels Video Archives）

研究者情報および研究情報を効率的に集約し、特色ある研究者の魅力を可視化するため、AI技術を導入

研究情報リポジトリ

KAKEN 科学研究費助成事業データベース

KOARA(慶應義塾大学学術情報リポジトリ)

CiNii Research

SciVal ELSEVIER

哲学　国際政治　音楽と脳　個体力学　脳科学
憲法　マクロ経済　マイクロナノ
民訴法　中東論　心理学　免疫学
アラビア語学　計量経済　人工知能　ソフトマテリアル　生理学
中世文学　医療経済　情報工学　分子界面　健康科学
東アジア近代史　消費者行動　有機エレクトロニクス　看護理工学
中世英国文学　経営論　基礎看護学
人類学　ビジネス戦略　分子ロボティクス　国際看護
情報学　リスク管理　環境科学　量子光工学　臨床看護
防災　昆虫社会

すべての研究者が対象

研究の魅力を抽出

AI等

研究のShowcase

・Webサイトでの公開
・研究紹介ビデオ制作
Hidden Jewels
Video Archives

・学内・学外研究者との連携研究促進

・産学連携促進

©Keio University, 2024

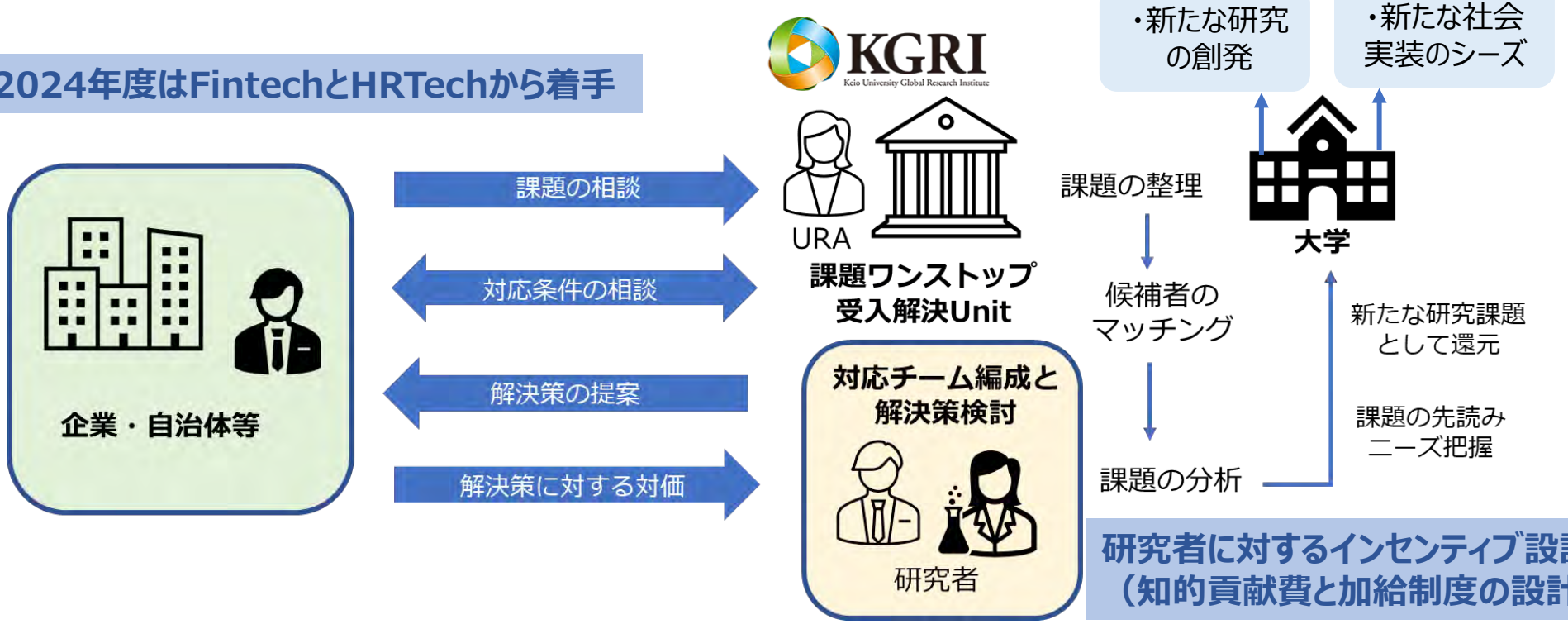
研究と課題解決の往還（Ideation & Activation*）

課題をワンストップで受け入れ、解決を図る活動

・社会科学中心で理系技術要素が必要となる課題への対応
・理系中心で社会科学のデザインが有用となる課題への対応

→ **次世代研究 と 社会貢献の往還につなげる**

2024年度はFintechとHRTechから着手



研究者に対するインセンティブ設計（知的貢献費と加給制度の設計）

*Ideation＆Activation：概念形成と活性化、アイデアを具体化し、実現に向けてアクションをおこす取り組み。研究活動の中において、ビジョン形成や価値創造の検討を加えることで、社会のニーズの先読みができるようになり、新しい研究課題の発見や社会実装につながるアプローチとなる。

©Keio University, 2024

OISTとの連携 -連携・共同研究を推進するための戦略-

新領域を開拓する人材育成

<ポスドク>

国際的な環境での研鑽

若手研究者・
ポスドクの派遣

<学生>

短期派遣・インターンプログラムの実施

医学部生等を派遣
連携の波及効果を最大化

<テクニシャン>

トレーニングコースへの参加

クライオ電顕
操作等

<事務スタッフ>

国際化スキル向上研修
(事務国際化研修プログラム)

事務職員の
参加

共同研究 と 組織的・恒常的交流の促進

- 共同研究・研究費獲得の企画・支援
- 交流イベントの企画・運営
- 人材交流のアレンジ・受入支援

<交流イベント>

OIST-Keio Symposium

研究者交流・
共同研究創出の
場として継続開催

OIST-Keio Workshop

コアファシリティーの
活用

©Keio University, 2024

慶應の将来ビジョン（”学問の社会実装”と”研究エコシステム”の実現）

WPI、COI-NEXTの発展を基軸に、国内・海外大学との連携も含んだ新たな研究拠点を形成する

複数拠点の融合により、新領域を開拓し、新産業を創出し、豊かな社会を実現する

学問の社会実装

起業家・実業家の創生

KGRI Keio University Global Research Institute

慶應義塾大学 イノベーション推進本部

慶應義塾大学 研究連携推進本部

学問で社会を豊かにし、社会からの学問への信頼を高める

日本や世界の経済的発展を促進し、豊かで幸せな社会を実現する

OIST

KING'S College LONDON

Northwestern University

University of Cologne

연세대학교 YONSEI UNIVERSITY

未来のコモンセンスをつくる研究大学

©Keio University, 2024